

# 東シナ海ブロック水産業情報

No. 117(2022年4月~6月)

## 増養殖情報

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
	<p>○豊前海 【カキ養殖】 ・順調に経過。 【栽培関連】 ・「かくや装置」によるアサリ稚貝生産、網袋による干潟での放流試験を実施中。 ・クルマエビの直放、ガザミの中間育成→放流を実施。</p>	<p>○有明 ・マガキ養殖 4月中旬以降、本養殖が開始されている。今年度、九州北部の梅雨期間は6月11日～6月28日と平年より短く、豪雨による海域の低塩分化はみられなかった。そのため、養殖中のカキは大量斃死を起こすことなく、順調に成長している。</p> <p>○玄海 ・アオナマコ、アカナマコ、カサゴ、マサバの種苗生産実施中</p>		<p>マダイ:エピテリオシチス症 ブリ: I 型 αレンサ球菌症 カンパチ: II 型 αレンサ球菌症 トラフグ: ヘテロボツリウム症</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>・鹿児島湾奥で発生した <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮は4月中旬に終息、4月下旬～5月上旬には甕島浦内湾で <i>Cochlodinium polykrikoides</i> による赤潮が発生した。</p>	<p>・6月に α 溶血性レンサ球菌(III型)が4件発生。うち1件は輸入直後のカンパチ天然種苗で確認。なお、薬剤感受性を調べたところ全ての菌株においてリンコマイシン耐性を確認。</p> <p>・5月にブリで2件、6月にカンパチで2件、ヤセ、幽門垂の拡張及び粘性便の症状を呈する疾病を確認し、腸管をPCRしたところコクシジウム類病原体の陽性を確認したこと等からコクシジウム類感染症と診断。</p>		